

5月14日(火)

外なるものと内なるもの

聖書朗読 IIコリント4:7~8

私たちは勇気を失いません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる日々は新たにされています。 IIコリント4:7~18

我が家の物置は、もう使えなくなった医療器具の保管場所となってしまいました。96歳になる母は、足に器具を入れたため、杖から歩行器となり、そして最後は車いすが必要となりました。年と共に母の必要は変わっていきました。眼鏡、補聴器や料理の味付け、温度管理など色々です。

ボディビルダーやウェイトリフティングの選手は、試合で彼らの力の最高潮を知ります。マラソン選手や、競輪選手、そして水泳選手も同様です。しかし、私たちは常に、若さの泉やアンチエイジングの薬や、高機能食品・飲料を探し求め、その止むことのない欲望は、ときに業者やその広告代理店の思うつぼとなり、よいカモとなってしまうことがあります。老化や死をよしとしない私たちの文化では、かつてのミスコン優勝者や、有名人の老けた姿を見たり、世界記録保持者がただの人になっていたりすることを知ると人々はがっかりします。

しかし、クリスチャンは、霊的な生まれ変わりが、唯一の若返りの方法であると信じています。私たちは永遠への旅に出ている巡礼者です。私たちの戻る家は神が私たちのために用意して下さった完璧な場所です。そこに戻るまで、もう少しの間だけ頑張りましょう。

讃美歌 270

祈り 主よ、私たちが永遠に続く世界を目指すように助けて下さい。
イエス様の御名によりて。アーメン。

テキサス州 ラボック
ボブ・マイズ

5月15日(水)

アメージング・グレイス!

聖書朗読 エペソ 2:8~9

あなたがたは、恵みゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行いによるものではありません。だれでも誇ることをしないためです。 エペソ 2:8~9

奴隷商人であったジョン・ニュートンは、海で荒れ狂う嵐の中、自分の命の心配をしていました。ニュートンは酔っ払いで、言葉遣いが悪く、下品で、不道德ものでした。彼は「究極の冒険者」と呼ばれていました。船と船員が助かる希望がほとんどない中、ニュートンは自身の体を舵に括り付けました。その時彼は、若い頃読んだ、箴言1章24節から28節を思い出しました。

わたしが呼んだのに、あなたがたは拒んだ。わたしは手を伸べたが、顧みる者はいない。

あなたがたはわたしのすべての忠告を無視し、わたしの叱責を受け入れなかった。

それで、わたしも、あなたがたが災難に会うときに笑い、

あなたがたを恐怖が襲うとき、あざけろう。

恐怖があらしのようにあなたがたを襲うとき、

災難がつむじ風のようにあなたがたを襲うとき、

苦難と苦悩があなたがたの上を下るとき、

そのとき、彼らはわたしを呼ぶが、わたしは答えない。

わたしを捜し求めるが、彼らはわたしを見つかることはできない。

ニュートンは、自分には希望もなく、助けられることはないであろうと思いましたが、それでもアメージング・グレースの歌詞を書きました。彼は晩年こう述べました。「薄れかける私の記憶の中に、二つだけ確かに覚えているものがある。一つは、私がおろかな罪人であること。もう一つははキリストが偉大な救い主であること。」

讃美歌 第二編 167

祈り 親愛なる主、あなたは驚くべきことをされる驚くべき神であるということを決して忘れない信仰を私にお与え下さい。私たちもまた罪人からあなたの子に変えられることができることを知って、恵みに感謝し、あなたの前に謙虚でいられるように助けて下さい。イエス様のお名前によって。アーメン。

ケンタッキー州 マウントワシントン
コニー・シンプキンス・トーマス

5月16日(木)

怒りをコントロールする

聖書朗読 エペソ 4:26~31

怒っても、罪を犯してはなりません。

エペソ 4:26

私たちは誰しも、怒りに負けてしまった経験があるはずです。誰かを殴るまではいかなかったにしても、意地悪な言葉や冷たい顔で人間関係を壊してしまったことが少なからずあるのではないのでしょうか。怒りをコントロールすることは、人生をコントロールすることです。

エペソ人への手紙では、怒りのような外からの力に脅されている時でさえも、キリストにあって一つにあるべきだと言っています。私たちが怒る時、罪を犯すか、犯さないかを選ぶことができます。悪魔は私たちを引き離すように足を引っ張ろうとします。本当に些細なきっかけで、人は簡単に去って行ってしまうのを私たちは見てきました。

例えば、棘があることばを投げかけられたことがきっかけで、傷つき、関係が壊れてしまうことを見てきました。

神はこれを悲しんでおられます。不和の罪は、私たちを愛する者からだけでなく、神から私たちを引き離してしまいます。これは本当に悲しいことです。

怒りをコントロールすれば罪を犯さないことができます。これは決意とタイミングによります。悪臭を放ち、真っ赤に燃えた怒りのゴミを取り出し、その怒りを神に託し、自分と相手の立場に立って事実に基づき考え、そして神の視点で考え、最後は神が私たちを赦してくださったように、相手を許すことができた時、自分や愛する者を必要以上に傷つけることなく怒りをコントロールできたことになるのでしょうか。この時、私たちは怒りの人生から解放されるのです。

讃美歌 461

祈り 主よ、あなたの光の中を歩む時に、私たちの上に降り注ぐ赦しに感謝致します。人を許す勇気と、私自身の怒りをすぐに神に託す強さを私にお与え下さい。

イエス様のお名前によってお願いいたします。アーメン。

テキサス州 ベッドフォード
マーク・ゴメス

5月17日(金)

歌いましょう！

聖書朗読 エペソ 5:17~20

詩と賛美と霊の歌とをもって、互いに語り、主に向かって、心から歌い、また賛美しなさい。
エペソ 5:19

水曜日の夜の聖書クラスが始まる前に、そのクラスを行う部屋の本棚から讃美歌を取り出しました。その日の聖書授業にふさわしい讃美歌が数曲、その讃美歌集の中にあっただけです。その日、仲の良い友人(狩り仲間)が私からさほど遠くない席に座っていたのですが、その讃美歌を持っている私を見た友人は、にやにやしながら話かけてきました。「『はるかに仰ぎ見る』を歌おうよ。二日前の夜、僕は自分のうちの玄関裏でその曲の一番と二番を歌っていたら三匹のキツネと二匹のコヨーテが集まってきてしまったんだ!」というのです。彼が言いたかったことは、自分がいかに歌うことが下手かということでした。私はおかしくなり、数分間お腹をかかえて笑ってしまいました。その後、しばらくは自分の聖書のクラスを始めるにあたり、冷静さを取り戻すのに苦労しました。

ある人たちは、歌うことがあまり好きでないかもしれません。ですから、そういう方は大きな声で歌うのではなく、心の中で音楽を奏でようとするだけで十分です。讃美はまず、心の中から溢れ出てくるものだからです。心の中の歌も必ず主に届いています。ですから歌いましょう。

讃美歌 448

祈り ああ、主よ、語り合い、主を讃美するために、心を、声を、そして、歌を私に与えて下さっていることを感謝します。

イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州 グランバリー
クリス・フリッツェル

5月18日(土)

近づきすぎではありませんか

聖書朗読 エペソ 22:3

利口な者はわざわいを見て、これを避け、わきまのない者は進んで行って、罰を受ける。 箴言 22:3

夜の運転で怖いことの一つは、車がすごい速さで走っている高速の路肩でゆっくり草を食べている小さな鹿の群れが突然視界に入ってきたときです。鹿はその危険には気づいていないようで、ものすごい車の騒音とライトも気にしていないように見えました。時々道路に近づきすぎてしまった彼らの悲しい姿を見ることもあります。

私たちは、危険に気づかず近づいた「ヘッドライトに照らし出された鹿」なのかもしれません。私たちは誰もが、様々な方法でサタンの試みにさらされています。試みに敏感でありたいと思います。すぐ近くにある罪に鈍感になることがありませんように。

ここは私たちの住み家ではありません。私たちは神様にぴったりとついていきましょう。そこは安全な繁栄の場所です。

私ではなく、あなたの御心が行なわれますように。
私の思いがあなたの御心とひとつとなれますように。
疑いを私の心から追い出し、
今、あなたの全き平和が授かりますように。

メリー・バーバー

讃美歌 316

祈り 聖なる神様、あなたから離れず、罪に近づくことのないようにお助け下さい。

今日、試みを退けることが出来るようにお助け下さい。

イエス様の御名によりて。アーメン。

オクラホマ州 タレックア
ユニー・S・スティンネット

5月19日(日)

心に留めるべきこと

聖書朗読 ペリピ 4:1~9

そのようなことを心に留めなさい。

ペリピ 4:8

私たちは自分の日常生活を創造主と結び付けて考えることもなく、俗物的なことばかり考えて過ごしています。自分自身のことや今欲しいもの、もっと大きな家、もっと良い車や子供たちに必要なものや子供たちが欲しがっているものについてばかり考えています。ペリピ人への手紙4章8節では、パウロは私たちに目見えないが、私たちの生活を大きく変えることについてきちんと時間をかけて考えるように強く言っています。

それは、すべての真実なこと、すべての誉れあること、
すべての正しいこと、すべての清いこと、
すべての愛すべきこと、すべての評判の良いこと

これらのことを一つでも考えていけば、私たちの未来は変わります！思いが行いとなり、習慣となり、その人の考え方となることを神様は知っておられます。これらのことを考えていけば、

物事を前向きに考え、自身の考えや思いを見直すと、
再考したことを実行に移すことができると確信できます。

今、あなたは自分が何を考えているか知っていますか。神様にあなたの考えを聞いてもらいましょう。神様は聞いて下さいます。正しいことに心に留めましょう。

讃美歌 187

祈り 親愛なる主よ、喜びと感謝の中、今日を生きることが出来ますように、あなたの御ことばと賜物を常に心に留めておくことが出来るように助けて下さい。

イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ケイティ
グレンダ・ラヴァネリ